



●麻生区町会連合会会長あいさつ

令和4（2022）年1月末現在、麻生区には125の町会・自治会があり、加入世帯数は約49,700世帯を数えます。そのうち107の町会・自治会が麻生区町会連合会に加入していただき、町会・自治会活動の充実、活性化に向けて、連携・協力しているところでございます。

自分たちの暮らす地域をより住みよい豊かなものにするために、町会・自治会では、防犯パトロール、防災訓練、美化活動など、様々な活動を行っています。地域に暮らす人たちがともに助け合いながら、地域の課題解決にも取り組んでいます。価値観の多様化、生活スタイルの変化、近年では新型コロナウイルス感染拡大等により、町会・自治会を取り巻く環境は大きく変わってきていますが、災害が発生した時など、いざという時に頼りになるのは、地域のつながりです。これからも住み良いまちづくりに向け、「顔の見える関係づくり」をすすめ、日頃の様々な活動に当たり、課題解決に向けた情報交換や連携などで相互に協力できればと考えております。

麻生区町会連合会は、昭和57年に多摩区から麻生区が分区したのと同時に発足し、今年で40周年を迎えます。一昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響で、市民生活は様変わりしましたが、人と人の絆の懸け橋として、そして地域の担い手として、町会・自治会の果たす役割は、今後さらに重要になっていくものだと思っております。

新しく麻生区にいられた方、また今まで仕事などで町会・自治会活動には積極的に関わられなかった方が、このガイドブックを御覧になって、町会・自治会の活動を少しでも知っていただき、私たちの仲間に加わっていただければ幸いです。皆様と明るく、安全で安心して暮らせるまちづくりをともに進めていきたいと考えています。

●麻生区長あいさつ

皆さんが生活されるまち麻生区はどのような街でしょうか。都心にも近く買い物も便利。まち全体に芸術文化の香りが漂い、豊かな自然に恵まれた、安全で安心なまち。一言でいえば“とても生活しやすいまち”といえます。その麻生区が誕生して40年という節目の年を迎えます。

こうした魅力あふれたまちに発展してきたのは、この街に住む方々の「自分たちの街をもっと、もっと良くしたい」と思い活動された賜物だと思っております。その中心となって活動されているのが、区内にある100を超える町内会・自治会の皆様です。

「町内会・自治会は、何をしているかわからない」「なにかと面倒くさい」などといった声を耳にしますが、町内会・自治会の活動をうまく伝えられていない、行政の責任と感じているところです。

辻々に立って通学する子どもたちを見守っている方、一人暮らしのお年寄りに声をかけてくれる方、盆踊りやお祭りなど地域の絆を紡いでくれる方、こうした防災、防犯、美化、福祉活動など身近な地域課題の解決に自主的に取り組んでいるのが、町内会・自治会の活動です。

新型コロナウイルス感染症により、親しい方ともなかなか会うことができない制約が多い生活を余儀なくされていますが、大規模な自然災害がいつどこで発生してもおかしくない時代です。いざという時にもっとも力を発揮するのは、日ごろから育てていた住民同士のつながり・支え合いではないでしょうか。

麻生区役所といたしましても、区制40周年を契機に、これまで以上に強固なコミュニティを築き、「住んでよかった」「住み続けたい」と感じていただけるまちづくりを、町内会・自治会の皆様と連携しながら推進してまいります。

麻生区に転入された方やまだ町内会・自治会に加入されていない方に、このガイドブックを手にとっていただき、町内会・自治会について関心を持っていただき、ずっと住み続けたい魅力的な麻生区となるよう、町内会・自治会の活動に参加していただければ幸いです。